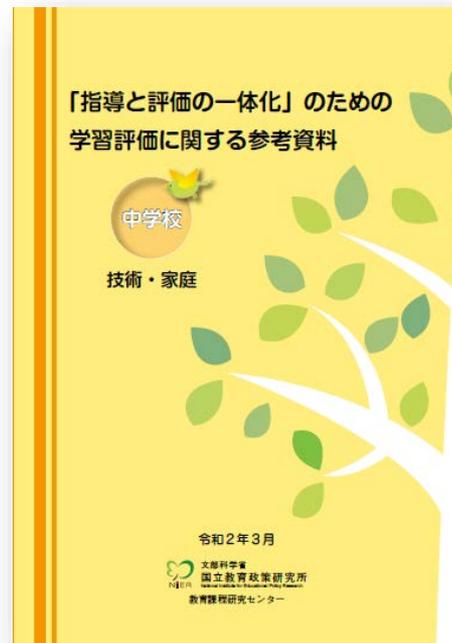


新学習指導要領に対応した学習評価 (中学校技術・家庭科家庭分野)

文部科学省
初等中等教育局

教育課程課教科調査官 丸山 早苗



目次

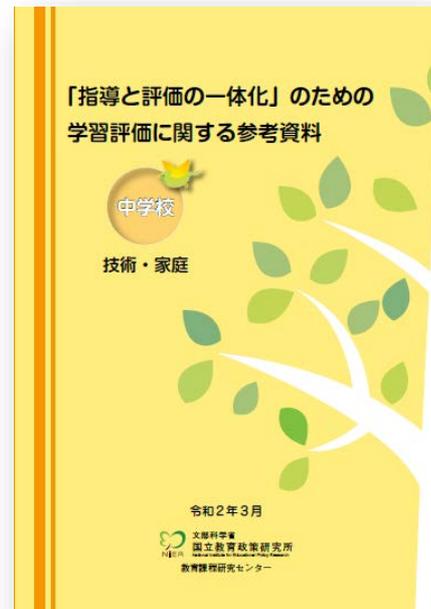
1. 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の手順

- 1-1 目標と観点の趣旨との対応関係
- 1-2 中学校技術・家庭科家庭分野の「内容のまとめり」
- 1-3 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の手順

2. 題材の学習評価

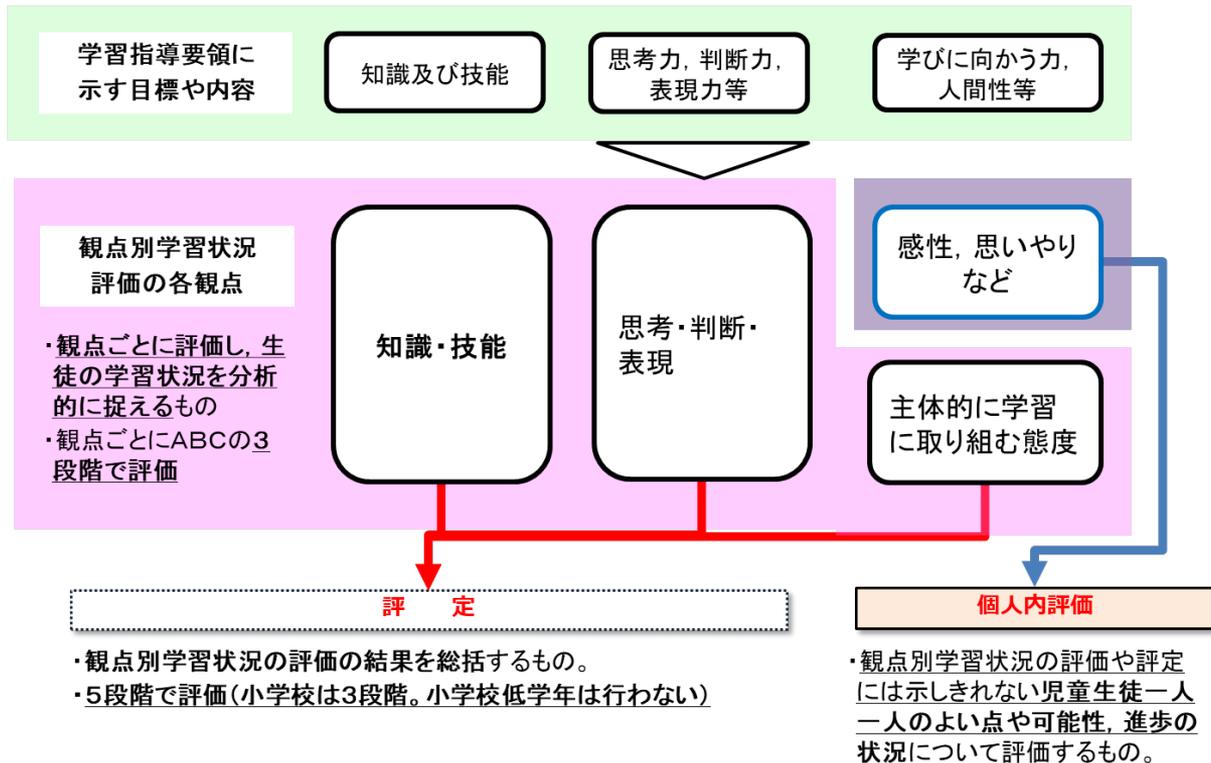
- 2-1 基本的な考え方
- 2-2 題材の検討，題材の目標，題材の評価規準の設定
- 2-3 題材の評価規準の学習活動に即した具体化

3. 学習評価に関する事例



学習評価の基本構造

- 各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして学習状況を評価するもの(目標準拠評価)
- したがって、目標準拠評価は、集団内での相対的な位置付けを評価するいわゆる相対評価とは異なる。



1. 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の手順

1-1 目標と観点の趣旨との対応関係

【学習指導要領 各教科等の「第1 目標」】

(1)	(2)	(3)
知識及び技能に関する目標	思考力、判断力、表現力等に関する目標	学びに向かう力、人間性等に関する目標
		観点別学習状況の評価を通じて見取することができる部分
		観点別学習状況の評価や評定になじまない部分

【改善等通知 別紙4 評価の観点及びその趣旨】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	知識・技能の観点の趣旨	思考・判断・表現の観点の趣旨	主体的に学習に取り組む態度の観点の趣旨

【中学校学習指導要領 第2章 第8節 技術・家庭「第1 目標」】

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 知識及び技能	(2) 思考力、判断力、表現力等	(3) 学びに向かう力、人間性等
生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

(中学校学習指導要領P.132)

【改善等通知 別紙4 家庭、技術・家庭 (1) 評価の観点及びその趣旨<中学校 技術・家庭>】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

(改善等通知 別紙4 P.18)

学習指導要領に示された教科の目標を踏まえて、
「評価の観点及びその趣旨」が作成されている

1. 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の手順

1-1 目標と観点の趣旨との対応関係

【学習指導要領 各教科等の「第2 各学年の目標及び内容」の学年ごとの「1 目標」】

(1)	(2)	(3)	
知識及び技能に関する目標	思考力、判断力、表現力等に関する目標	学びに向かう力、人間性等に関する目標	
		観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分	観点別学習状況の評価や評定になじまない部分

【改善等通知 別紙4 「学年別（又は分野別）の評価の観点の趣旨」】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	知識・技能の観点の趣旨	思考・判断・表現の観点の趣旨	主体的に学習に取り組む態度の観点の趣旨

【中学校学習指導要領 第2章 第8節 技術・家庭「第2 各分野の目標及び内容」〔家庭分野〕1 目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 知識及び技能	(2) 思考力、判断力、表現力等	(3) 学びに向かう力、人間性等
家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

(中学校学習指導要領P.136)

【改善等通知 別紙4 家庭、技術・家庭（2）分野別の評価の観点の趣旨〈中学校技術・家庭（家庭分野）〉】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

(改善等通知 別紙4 P.18)

学習指導要領に示された分野の目標を踏まえて、「評価の観点及びその趣旨」が作成されている

1 - 2 中学校技術・家庭科家庭分野の「内容のまとめり」

内容のまとめり

- 学習指導要領に示す各教科等の「第2各学年（分野）の目標及び内容 2内容」の項目等をそのまとめりごとに細分化したり整理したりしたもの。

内容のまとめりごとの評価規準

- 「2内容」の記載事項の文末を、「～すること」から「～している」と変換したもの。
- 「主体的に学習に取り組む態度」については、「2内容」に記載がない。各学年（又は分野）の「1目標」を参考にしつつ、必要に応じて学年（又は分野）別の評価の観点の趣旨を用いながら「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する必要がある。

- 「A 家族・家庭生活」 (1) 自分の成長と家族・家庭生活
- 「A 家族・家庭生活」 (2) 幼児の生活と家族
- 「A 家族・家庭生活」 (3) 家族・家庭や地域との関わり
- 「A 家族・家庭生活」 (4) 家族・家庭生活についての課題と実践
- 「B 衣食住の生活」 (1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴
- 「B 衣食住の生活」 (2) 中学生に必要な栄養を満たす食事
- 「B 衣食住の生活」 (3) 日常食の調理と地域の食文化
- 「B 衣食住の生活」 (4) 衣服の選択と手入れ
- 「B 衣食住の生活」 (5) 生活を豊かにするための布を用いた製作
- 「B 衣食住の生活」 (6) 住居の機能と安全な住まい方
- 「B 衣食住の生活」 (7) 衣食住の生活についての課題と実践
- 「C 消費生活・環境」 (1) 金銭の管理と購入
- 「C 消費生活・環境」 (2) 消費者の権利と責任
- 「C 消費生活・環境」 (3) 消費生活・環境についての課題と実践

1 - 3 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の手順

学習指導要領に示された教科及び学年（又は分野）の目標を踏まえて、「評価の観点及びその趣旨」が作成されていることを理解した上で



- ①各教科における「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を確認する。
- ②【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する。

1-3 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の手順

①各教科における「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を確認する。

次の(1)から(7)までの項目について、課題をもって、健康・快適・安全で豊かな食生活、衣生活、住生活に向けて考え、工夫する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

例：「B衣食住の生活」の(4)「衣服の選択と手入れ」

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。

(イ) 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。

イ 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫すること。

(下線) …知識及び技能に関する内容

(波線) …思考力、判断力、表現力等に関する内容

※「A家族・家庭生活」の(1)「自分の成長と家族・家庭生活」及び(4)「家族・家庭生活についての課題と実践」, 「B衣食住の生活」の(7)「衣食住の生活についての課題と実践」, 「C消費生活・環境」の(3)「消費生活・環境についての課題と実践」は、指導事項アのみで構成されている。A(1)の評価の観点については、「知識・技能」、A(4)、B(7)、C(3)の評価の観点については、家庭や地域などで実践を行い、課題を解決する力を養うことから、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」であることに留意する。

1-3 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の手順

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する。

知識・技能のポイント

- ・指導事項アについて、その文末を「～について理解している」、「～について理解しているとともに、適切にできる」として、評価規準を作成する。
- ・「A家族・家庭生活」の(1)については、その文末を「～に気付いている」として、評価規準を作成する。

例：「B衣食住の生活」の(4)「衣服の選択と手入れ」

学習指導要領 「2 内容」	知識及び技能 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア)衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。 (イ)衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。
内容のまとめりごとの評価規準 (例)	知識・技能 ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。

1 - 3 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の手順

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する。

思考・判断・表現のポイント

- ・教科の目標の(2)に示されている学習過程に沿って、「課題を解決する力」が身に付いているのかを評価する。
- ・基本的に指導事項イについて、その文末を分野の評価の観点の趣旨に基づき、「～について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている」として、評価規準を作成する。

例：「B衣食住の生活」の(4)「衣服の選択と手入れ」

学習指導要領 「2 内容」	思考力・判断力・表現力
	イ 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫すること。

内容のまとめり ごとの評価規準 (例)	思考・判断・表現
	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

1-3 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の手順

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する。

主体的に学習に取り組む態度のポイント

- 基本的には、指導事項ア及びイと分野の目標、分野の評価の観点の趣旨を踏まえ、①粘り強さ、②自らの学習の調整、③実践しようとする態度を含めることを基本とし、その文末を「～について、課題の解決に主体的に取り組んだり（①）、振り返って改善したり（②）して、生活を工夫し創造し、実践しようとしている（③）」として、評価規準を作成する。

例：「B衣食住の生活」の（4）「衣服の選択と手入れ」

学習指導要領 「2 内容」	学びに向かう力、人間性等
	※内容には、学びに向かう力、人間性等について示されていないことから、分野の目標(3)を参考にする。

内容のまとめりごとの評価規準 (例)	主体的に学習に取り組む態度
	<u>よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</u> ※必要に応じて分野別の評価の観点の趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて作成する。

2. 題材の学習評価

2-1 基本的な考え方

■ 家庭分野の特徴（※単元ではなく題材）

- ・ 題材：学習指導要領の各項目に示される指導内容を指導単位にまとめて組織して題材を構成し、分野の目標の実現を目指している。

(例) 題材名「自立した消費者となるために」：「C消費生活・環境」(1)「金銭の管理と購入」ア, イ
(第3学年) (全9時間) 「C消費生活・環境」(2)「消費者の権利と責任」ア, イ

- ・ 題材の設定については、各項目及び各項目に示す指導事項との関連を見極め、相互に有機的な関連を図り、系統的及び総合的に学習が展開されるよう配慮する必要がある。
- ・ 各項目に配当する授業時数と履修学年については、生徒や学校、地域の実態等に応じて、各学校において適切に定める。



- ・ 実際の指導に当たっては、履修学年を踏まえ
 - ①「題材の目標」及び「題材の評価規準」を作成
 - ②学習指導要領解説の記述を参考にするなどして、「題材の評価規準」を学習活動に即して具体化する

2-2 題材の検討, 題材の目標, 題材の評価規準の設定

■ 題材の検討

- 学習指導要領に基づき、解説に示された**配慮事項**及び**各内容の特質**を踏まえ、**生徒の発達の段階等**に応じて、内容「A 家族・家庭生活」から「C 消費生活・環境」までの**各内容項目**や**指導事項の相互の関連**を図る。
- その上で、指導する内容に係る**学校、地域の実態**、**生徒の興味・関心**や**学習経験**を踏まえ、より身近な**題材**を設定するよう配慮する。

■ 題材の目標の設定

- 学習指導要領に示された**分野の目標**並びに**題材で指導する項目**及び**指導事項**を踏まえて設定する。

【学習指導要領 各教科等の「第2 各学年（又は分野）の目標及び内容」の学年（又は分野）ごとの「1 目標」】

	(1)	(2)	(3)
分野の目標	知識及び技能に関する目標	思考力、判断力、表現力等に関する目標	学びに向かう力、人間性等に関する目標



指導項目	(1)	(2)	(3)
B(4)	ア(ア)(イ)の指導事項	イの指導事項	
B(5)	アの指導事項	イの指導事項	

題材：「健康・快適で持続可能な衣生活」（第2学年）

【学習指導要領 題材で使用する内容の項目及び指導事項】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
題材の目標	衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択、衣服の計画的な活用必要性、日常着の手入れ及び、製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それに係る技能を身に付ける。	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

2-2 題材の検討, 題材の目標, 題材の評価規準の設定

■ 題材の評価規準

- ・ 「内容のまとめりごとの評価規準 (例)」 から題材において指導する項目及び指導事項に係る部分を抜き出し、評価の観点ごとに整理・統合、具体化するなどして作成する。

題材：「健康・快適で持続可能な衣生活」 (第2学年)

指導項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとめりごとの評価規準 (例)	B(4)ア(7) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 B(4)ア(1) 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	B(4)イ 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	B(5)ア 製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	B(5)イ 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
題材の評価規準	・ 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・ 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 ・ 製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

2-3 題材の評価規準の学習活動に即した具体化

- 「『内容のまとめりごとの評価規準（例）』の具体化した例」
 - ・ 「題材の評価規準」の基となっている「内容のまとめりごとの評価規準（例）」を具体化する。

例：「B衣食住の生活」の（4）「衣服の選択と手入れ」

学習指導要領 「2 内容」	知識及び技能
	ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 （ア）衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。 （イ）衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。
内容のまとめりごとの評価規準（例）	知識・技能 ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。
内容のまとめりごとの評価規準（例）を具体化した例	知識・技能 ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 ・洗濯 ・補修

知識・技能のポイント

- ・ 指導事項アについて、その文末を「～について理解している」、「～について理解しているとともに、適切にできる」として、評価規準を作成する。
- ・ 「A家族・家庭生活」の(1)については、その文末を「～に気付いている」として、評価規準を作成する。

2-3 題材の評価規準の学習活動に即した具体化

例：「B衣食住の生活」の(4)「衣服の選択と手入れ」

学習指導要領 「2 内容」	思考力・判断力・表現力等 イ 衣服の選択, 材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え, 工夫すること。
------------------	--

内容のまとめ りごとの評価 規準 (例)	思考・判断・表現 衣服の選択, 材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し, 解決策を構想し, 実践を評価・改善し, 考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
----------------------------	--

内容のまとめ りごとの評価規準 (例)を具体化 した例	思考・判断・表現 ・衣服の選択, 材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について, <u>問題を見いだして課題を設定している。</u> ・洗濯 ・補修 ・衣服の選択, 材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について (<u>実践に向けた計画を) 考え, 工夫している。</u> ・衣服の選択, 材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について, <u>実践を評価したり, 改善したりしている。</u> ・衣服の選択, 材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方についての課題解決に向けた一連の活動について, <u>考察したことを論理的に表現している。</u>
--------------------------------------	---

思考・判断・表現のポイント

・基本的には、教科の目標の(2)に示されている学習過程に沿って、四つの評価規準を設定し、評価することが考えられる。ただし、これらの評価規準は、各題材の構成に応じて適切に位置付けることに留意する必要がある。

- ①家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だし、解決すべき課題を設定する力は、その文末を「～について問題を見いだして課題を設定している」
- ②生活課題について多角的に捉え、解決方法を検討し、計画、立案する力は、その文末を「～について (実践に向けた計画を) 考え, 工夫している」
- ③課題の解決に向けて実践した結果を評価・改善する力は、その文末を「～について, 実践を評価したり, 改善したりしている」
- ④考察したことを論理的に表現する力は、その文末を「～についての課題解決に向けた一連の活動について, 考察したことを論理的に表現している」

2-3 題材の評価規準の学習活動に即した具体化

例：「B衣食住の生活」の(4)「衣服の選択と手入れ」

学習指導要領 2 内容	学びに向かう力、人間性等 ※内容には、学びに向かう力、人間性等について示されていないことから、分野の目標(3)を参考にする。
内容のまとめ りごとの評価規 準(例)	主体的に学習に取り組む態度 よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
内容のまとめ りごとの評価 規準(例)を 具体化した例	主体的に学習に取り組む態度 ・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・よりよい衣生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について工夫し創造し、実践しようとしている。

主体的に学習に取り組む態度 のポイント

・基本的には、三つの側面から評価規準を設定し、評価することが考えられる。ただし、これらの評価規準は、各題材の構成に応じて適切に位置付けることに留意する。

- ①粘り強さは、その文末を「～について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている」
- ②自らの学習の調整は、その文末を「～について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている」
- ③実践しようとする態度は、その文末を「～について工夫し創造し、実践しようとしている」

2 - 3 題材の評価規準の学習活動に即した具体化

題材：「健康・快適で持続可能な衣生活」（第2学年）

指導項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B(4)	「内容のまとめりごとの評価規準（例）」を具体化した例		
B(5)	「内容のまとめりごとの評価規準（例）」を具体化した例		

指導項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用について理解している。 ・衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用必要性について理解している。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の洗濯の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・衣服の状態に応じた日常着の補修の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・快適で持続可能な衣生活を送るために、衣服の選択、日常着の手入れ、衣服等の再利用などについて、問題を見だして課題を設定している。 ・衣服の選択について、問題を見いだして課題を設定している。 ・材料や汚れ方に応じた日常着の洗濯の仕方について、問題を見いだして課題を設定している。 ・衣服の選択について考え、工夫している。 ・材料や汚れに応じた日常着の洗濯の仕方について考え、工夫している。 ・衣服の選択について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・材料や汚れ方に応じた日常着の洗濯の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・材料や汚れ方に応じた日常着の洗濯の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・よりよい衣生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について工夫し創造し、実践しようとしている。
B(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・製作する物に通した材料や縫い方について理解しているとともに、製作が適切にできる。 ・用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の衣服等の再利用について、問題を見だして課題を設定している。 ・衣服等の再利用の製作計画について考え、工夫している。 ・衣服等を再利用した製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・健康・快適で持続可能な衣生活を送るための課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服等の再利用の製作計画や製作について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・衣服等の再利用の製作計画や製作について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・よりよい衣生活の実現に向けて、衣服等の再利用の製作計画や製作について工夫し創造し、実践しようとしている。

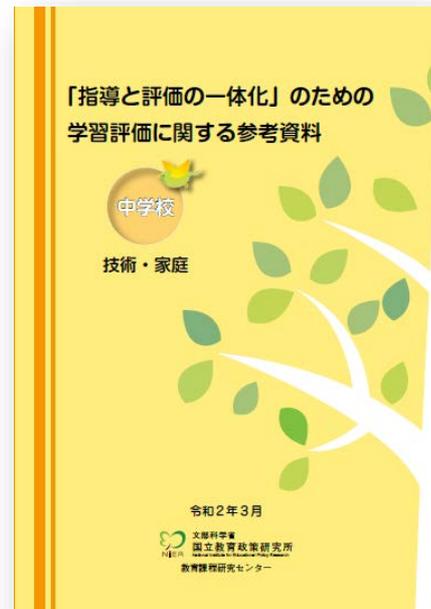
3. 学習評価に関する事例

事例1 指導と評価の計画から評価の総括まで
「健康・快適で持続可能な衣生活」 (第2学年)

事例2 「知識・技能」の評価
「自立した消費者となるために」 (第3学年)

事例3 「思考・判断・表現」の評価
「家族・家庭や地域との関わり」 (第1学年)

事例4 「思考・判断・表現」 「主体的に学習に取り組む態度」
の評価
「我が家の防災対策」 (第3学年)



3. 学習評価に関する事例

どんなねらいで
どんな活動をするのか

どの観点で
どんな方法で評価するのか

題材	時間	ねらい・学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【4】	8	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服の計画的な活用必要性について理解することができる。 ・手持ちの衣服を点検し、購入から廃棄までを見通した計画的な活用について話し合う。 <p>長持ちさせるための手入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の再利用、リサイクル <ul style="list-style-type: none"> ○自分の生活を豊かにするための衣服等の再利用について問題を見だし、課題を設定することができる。 ・衣服等の再利用の製作計画の条件を確認し、課題を設定する。 <p><条件></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 小学校やこれまで学習した技能を生かす。 ② 衣服や布でできた物を袋物（バッグ・巾着など）によみがえらせる。 ③ 計画を含め5時間で製作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 衣服の計画的な活用必要性について理解している。 ・学習カード 	<p>(課題3)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自分や家族の衣服等の再利用について問題を見だし課題を設定している。 <ul style="list-style-type: none"> ・製作計画・実践記録表 	<ul style="list-style-type: none"> ① 衣服等の再利用の製作計画や製作について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・ポートフォリオ (学習の足あと) 【例4】
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服等を再利用し、自分の生活を豊かにする物の製作計画について考え、工夫するとともに、製作することができる。 ・再利用する衣服等の素材や特徴を生かして、自分の生活を豊かにする物の製作計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 製作する物に適した材料や織い方について理解しているとともに、製作が適切にできる。 ・製作計画・実践記録表【例1】 ・再利用作品 	<ul style="list-style-type: none"> ② 衣服等の再利用の製作計画について考え、工夫している。 ・製作計画・実践記録表 	<ul style="list-style-type: none"> ② 衣服等の再利用の製作計画や製作について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って話ししようとしている。 ・ポートフォリオ (学習の足あと) 【例4】
	10	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服等を再利用し、自分の生活を豊かにする物の製作計画について考え、工夫するとともに、製作することができる。 ・再利用する衣服等の素材や特徴を生かして、自分の生活を豊かにする物の製作計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ 用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 ・行動観察 	<ul style="list-style-type: none"> ③ 衣服等を再利用した製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・製作計画・実践記録表 ・再利用作品 	
	11	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワイシャツやブラウスの生地を生かしてバッグや巾着を作る。 ・シャツの気に入った柄の部分を生かしてバッグの飾りにする。 など <ul style="list-style-type: none"> ・製作計画に沿って製作する。 ○衣服等を再利用した製作について振り返り評価したり、改善したりすることができる。 ・製作した作品について、自己評価する。 			

どんな学習状況と判断するのか
どのように個に応じた指導をするのか

【評価規準②】4・5時間目：衣服の洗濯
材料や汚れ方に応じた日常着の洗濯の仕方について考え、工夫しているか

学習カードの一部【例2】 その汚れ、あなたならどう落とす？

汚れの状態	セーターにケチャップがはねた	「十分満足できる」状況(A)
素材	毛	「おおむね満足できる」状況(B)
汚れの種類	油性の汚れ	「努力を要する」状況(C)
洗い方	中性洗剤を使って手洗いをする。	個に応じた指導の工夫 ・洗濯する日常着の汚れの種類や組成表示、洗剤の種類等を再確認 など
洗剤の種類	しみがついたらなるべく早く洗う。	
注意点		

衣服の手入れ（洗濯）におけるペーパーテストの一部【例3】 「おおむね満足できる」状況(B)

問1 次のような場合、あなたほどのような工夫をして洗濯を行いますか。

洗濯かごの中に、母の花柄のエプロン、父の紺のTシャツ、姉の毛のセーター、野球で汚れた弟の服下、自分の綿のワイシャツ、バスタオル、フェイスタオルが入っています。あなたほどのような工夫をして洗濯をしますが、その理由も書きなさい。

工夫点1とその理由
・全部一緒に洗うのではなく、洗濯物を分けて洗剤や洗い方を区別して洗う。一緒に洗うと素材によっては縮んだり、しわになったり、伸びたりするものがあるかもしれない。

工夫点2とその理由
・弟の服下は、汚れがひどく、洗濯機で洗うだけでは汚れが落ちにくいので、手洗いをする。

「十分満足できる」状況(A)
<思考・判断・表現>②
※「十分満足できる」状況(A)と判断した生徒の具体的な例
取扱い表示を確認し、手洗い可能な場合は、ケチャップが付いた部分に中性洗剤を付け、つまんでもみ洗いし、その部分を丁寧にすすぐ。
洗い方や洗剤についてだけではなく、**注意点やその根拠を具体的に記述していることから(A)と判断した。**

「十分満足できる」状況(A)
<思考・判断・表現>②
※「十分満足できる」状況(A)と判断した生徒の具体的な例
工夫点1とその理由
・・・・素材によっては縮んだりするので、洗濯物を分けて洗剤や洗い方を区別して洗う。また、綿のワイシャツは、しわにならないように、ネットに入れぬるま湯を絞るに手洗いをする。
工夫点2とその理由
・・・・他の洗濯物が汚れるから先に手洗いを。綿シャツの首回りの汚れは落ちにくいので、先に直接洗剤等を付けてもみ洗いしておく。
学んだことを生かし、様々な視点から工夫点を考え、その理由を具体的に記述していることから(A)と判断した。

3. 学習評価に関する事例

題材を通した観点別学習状況の評価の総括を
どのように行うか

題材名「健康・快適で持続可能な衣生活」における観点別学習状況の評価の結果例

題材の評価規準	知識・技能							思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				題材の総括
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	①	②	③	④	①	②	③	④	
学習活動における評価規準	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	題材全体を貫く課題:1次				題材全体を貫く課題:1次				観点ごとの総括
指導項目	B(4)	B(4)	B(4)	B(4)	B(4)	B(5)	B(5)	課題1: 2~3次				課題1: 2~3次				
自己評価	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	課題2: 4~7次				課題2: 4~7次				観点ごとの総括
Zさんの評価	A	A	B	A	A	A	B	課題3: 8~13次				課題3: 8~13次				
評価結果のA, B, Cの数	A: 5 B: 2 C: 0							評価結果のA, B, Cの数				評価結果のA, B, Cの数				観点ごとの総括
合計	19							合計				合計				
平均値	2.71							平均値				平均値				

題材の観点別学習状況の評価の総括

- ① 評価結果のA・B・Cの数を基に総括
- ② 評価結果のA・B・Cを数値に置き換えて総括
→ B基準: $1.5 \leq \text{平均値} \leq 2.5$

家庭分野の観点別学習状況の評価の総括

題材ごとの観点別評価を合わせて分野ごとの総括

技術・家庭科の総括

分野ごとに観点別評価を総括した後、
配当する授業時数に応じて重み付けを行う など

新学習指導要領に対応した学習評価 (中学校技術・家庭科家庭分野)

文部科学省
初等中等教育局
教育課程課教科調査官 丸山 早苗

